

視聴覚教育

No. 98

発行日

58.12.1

発行

岡崎市AVL

編集

広報委員会

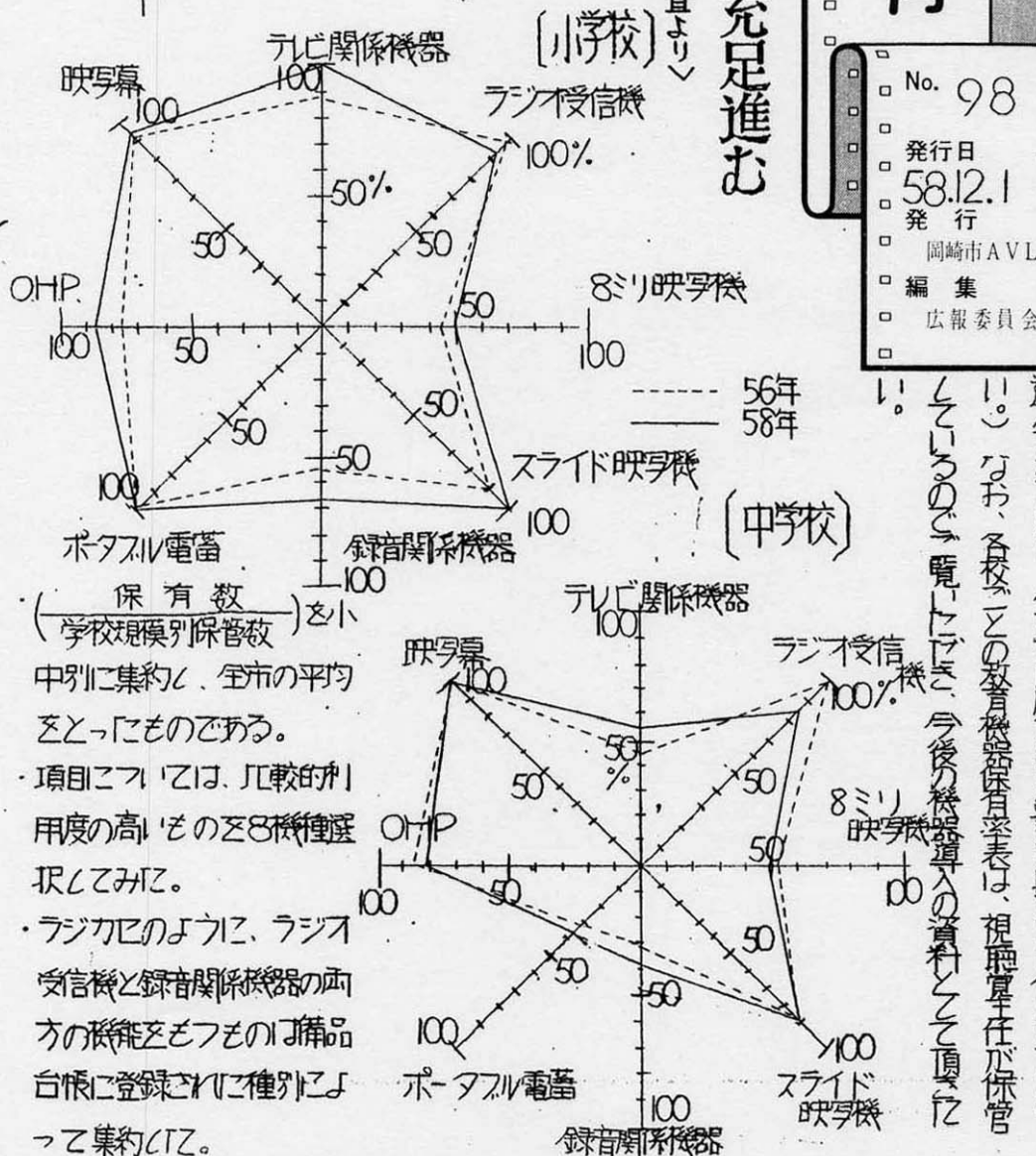
広報委員会

テレビ関係機器の充足進む

△昭和58年度 教育機器調査より△

市内小中学校の教育機器の保有状況は、調査された六ヶ月末日現在で調査しての結果がこの程となりました。

主として教育機器の保有状況は、基準に対しての保有数の割合を小中別に表すと図に示すようになります。小学校、中学校ともテレビ関係機器の充足が目立つ。小学校では、TVカメラ、カセットVTR保有校の増加。中学校ではアエフイターの設置に伴い、TV、VTRの不足が各校に



進んでいく。この関係は、調査段階では与えられていない。なお、各校ごとの教育機器保有率は、視聴覚主任が保管しているもので、電卓に引き、今後の機器導入の資料として頂戴。

アナライザー教室の活用—社会科—

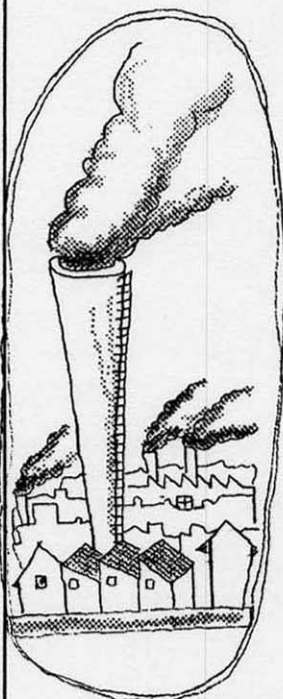
南中学校 山本 誠

社会科の学習では資料の活用が大切であるが、アナライザー教室を使用することにより、前記に述べ資料の提示が楽になつた。特に教材提示機は、正図帳にある資料や教科書に載っている写真と拡大してすぐ見られるものができていく便利である。

一年生の瀬戸内工業地域の学習では、工業分布図や水島コンビナートの図などを見ながら単元を具体的に進行することができた。これにより学習は生徒にとって、分かりやすく、意欲的に取りくみることができた。

また、VTRの使用は、後々の座席の生徒が容易に覗くことができ、好評である。

反応分析機であるが、個別配布や時間累積や時間分布とグラフから始めている。生徒はボタンを押すものが楽というので、挙手するものに比べ、心理的抵抗が少なくなつた。



風崎市自作TPP作品賞入賞

今年度は、277点の応募があり、五千九点が入選となり、入選作品は県の方へ再応募している。

12月のシ

甲 理科【大気中の水のふちまひ】57点22分
 大気中の水蒸気、雲や雨、雪のふちまひ等様々な現象現象の要因となっている。大気中の水の循環について理解している。

【社会科】日本の伝統工業—ヤマトのまら—54点—21分
 瀬戸の陶磁器が発達してきた背景、伝統的技術のすばらしさや人間の知恵、伝統を今かその共化への歩みなどに焦点をあてて、伝統工業への関心を高めるのに、理解を深めさせる。

県小自作視聴覚教材コンクールにぜひ応募を
 8ミリ、16ミリ、ビデオの作品を応募してみよう。

ライブラリー
 だよ

提出は
 風崎市視聴覚
 ライト

1月7日(土)

また、

その他

詳細は
 1397号
 を参照

2学期の取扱配達は12/13(火) 3学期開始は1/17(火)です。